



「4周年記念のつどい」に約300名が参加！ ご協力ありがとうございました

立冬も過ぎ、暦のうえでは冬です。今年の冬は、新型インフルエンザの流行が心配されますが、体調管理には十分気をつけ、元気に乗り切りましょう。

11月1日開催の「4周年記念のつどい」の参加者は約300名でした。小森陽一さんの熱気溢れる講演、神田香織さんの迫力ある立体講談で盛り上がりました。太鼓演奏と合唱も最初と最後を飾ってくれました。また「つどい」の準備から終了まで、たくさんの賛同人の方の協力を頂き、ありがとうございました。

「はだしのゲン」の講談を聞き「戦争への怒り、現政治への怒り、さまざまな怒りが湧いてきて涙があふれました。そして、つくばに9条の会があることの素晴らしさを改めて感じました。」との感想も寄せられています。

9月中旬に発足した民主党中心の新政権のもとでの初めての国会が開催中です。新政権に対して期待と同時に不安があるというのが多くの国民の見方ようです。今、外交問題では、沖縄の米軍普天間基地移設の問題があります。総選挙の前には「県外移設または国外移設」と公言していた民主党ですが、「嘉手納基地統合案」や「新基地建設案」等の「基地たらいまわし」の閣僚発言が相次ぎ、鳩山首相は「最後は私が決める」との発言に終始しています。これではまさに不安そのものであり、公約に逆行するものです。

11月7日には嘉手納町で2500人、8日には宜野湾市で2万1千人の沖縄県民が集結し、怒りと抗議の声を上げたと報道されています。戦後64年間、沖縄県民は基地があるため様々な被害を受けており、我慢の限界です。私たちも「沖縄から、日本から米軍基地をなくそう」の声を広めていく時ではないでしょうか。

鳩山新政権には、沖縄県民の願いに耳を傾け、米国の圧力に屈せず、腰をすえた米国との交渉を求めたいと思います。今こそ、「憲法9条」を生かした外交が輝く時です。



「結」30号のおもな内容

- 1面： 今、憲法9条は
- 2・3面：「4周年記念のつどい」報告
「つどい」アンケート報告・感想
- 4・5面： 「4周年記念のつどい」資料から 活動報告
- 6面： 会の活動から、チラシ配布行動・「澤地久枝講演会」に参加して、他

行動予定

- 12月3日(日)：定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 12月18日(金)：事務局会
19時～21時 並木公民館
- 1月3日(日)：定例署名行動 未定
- 1月10日(日)：成人式署名行動
12時～13時半 つくばカピオ前集合
- 1月17日(日)：定例会
10時～12時半 並木公民館



11月1日「4周年記念のつどい」報告

4周年記念のつどい無事終了！

11月1日（日）、つくばカピオホールにおいて、4周年記念のつどいを開催いたしました。当日は、286名の方が参加して下さいました。

ロビーでは、いろいろな物販のコーナーも充実し、活気ある中、スタッフの皆さんの笑顔で、参加者をお迎えいたしました。朝一番の集合から、ロビーやステージでの準備に多くの方が動いている様子を見て、このイベント、そして憲法9条の会つくばが、とても多くの方の力で成り立っているというのを改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいでした。

イベントのスタートは、昨年に続き、賛同人の片平博さんの和太鼓演奏からスタートしました。手作りの太鼓での、オリジナル曲の演奏は、実に力強く、スタッフの我々にもパワーを与えてくださいました。

実行委員長の開会挨拶に続き、伊藤代表の会の活動報告。地域での活動の充実など、この1年間の活動を報告し、これからも憲法9条を守っていくという、力強いメッセージで締めくくりました。

そして、以前より、憲法9条の会つくばでのイベントでの講演を熱望していました「九条の会」事務局長の小森陽一さんの講演では、憲法9条を取り巻く歴史などを、とても分かりやすく、鋭い分析で説明してくださいました。「なぜ酒井法子被告の夫の逮捕があの日でなければいけなかったのか？」そんな切り口から、とても興味深い話を聞くことが出来ました。政権交代があったから、暫くは9条は安心などと考えていられないことを、会場の皆さんと共に再認識しました。

休憩を挟んで、神田香織さんの立体講談「はだしのゲン」を観賞しました。はじめに講談に馴染みのない方に、講談の歴史やどのようなものかを楽しく説明してくださいと、平和への想い、「はだしのゲン」との出会いの話も聞かせてくださいました。そして、本編。神田さんの語り引き込まれ、自分がその場に居合わせているのではないかと思うほどの迫力で、戦争がもたらすものは、悲しみ以外はない。9条を、そして平和を守っていかねばいけないということを改めて強く思いました。

その後、アルテファミリー合唱団による「旅立ちの日に」の合唱と、コカリナサークル「ブルースカイ」の皆さんも加わり、会場が一体となつての「青い空は」の合唱は、最後に盛り上がり終わる演出でしたが、あまりに神田さんの講談の迫力がすごく、パワーに押されてしまいましたね。

それでも、最後は樋田代表の、賛同人への呼びかけと、世話人会への呼びかけの熱い語りで、つどいの総括をして、無事終えることが出来ました。

今回、実行委員長を務めさせて頂きましたが、時間に余裕がなく、実務的なことではほとんど役に立てませんでした。皆さんのお力で、イベントとしてはとても有意義なものになったと思います。

反省を踏まえつつ、来るべき5周年が盛大に行なわれますように、皆さんでちょっとずつ力を合わせて、これからも憲法9条の会つくばを盛り上げていきましょう。

（実行委員長 堀部 一寿）

4周年記念のつどい アンケート報告

35名の方がアンケートを寄せてくださいました。ありがとうございました。講演や講談の感想に加えて、「つどい」の運営と当会への提言を一部抜粋してご紹介します。

◇ 小森さんの講演は「日本国民としてアンテナを張り、正しい情報のみを拾い、思考・行動せよ」というのが趣旨であったと思います。マスコミや野蛮人国家アメリカに騙されぬよう気をつけなければと肝に銘じました。

神田さんの講談も、観客参加型の前段がとても面白かったです。「はだしのゲン」では、小森さんの講演にもあったように、情報操作された人々の滑稽さが強調され、現在の煽られている日本に似ていると感じました。「はだしのゲン」は中学生時代に読みましたが、さすが立体講談です。音と光と音量で大迫力でした。お二人とも話がお上手で全て退屈することがなかったです。来てよかったと満足致しました。

（賛同人でない男性 つくば市）

◇ 話だけでは非常にわかりにくい。70%の人は理解できずにいたと思う。小森さんに「わかりにくい」と伝えるべき。
（友人から誘われた賛同人でない20代の男性 土浦市）

◇ 神田さんの講演続けて下さい。次に続ける人も育ててください。

小森先生のお話、とてもためになり政治のからくりがわかりためになりました。でも私にとって話の速度が速すぎて、私自身の不勉強さががっかりしました。
（賛同人で60代の女性 土浦市）

◇ 小森さん、神田さんのお話を拝聴し、終戦後初めて味わう感動に心を洗われました。息子、娘、孫たちにこの感動を話してやります。(80代の男性、牛久)

◇ 小森先生：いつも新聞・TVでニュースを知りますが、国際関係まで含めて背景をきちんと理解していなかったことを痛感しました。ご講演の最後のメッセージが心にしみました。

神田さん：名前しか知らなかった「はだしのゲン」を初めて伺いました。悲惨さとともに希望が伝わりました。(賛同人で40代の女性 つくば市)

◇ 小森さんのお話はとてもわかりやすく、良かった。マスコミの報道についての話は、日頃から疑問を持っていることから、話を聞いてスッキリした。

神田さんの講談も迫力いっぱい良かった。講談を通じて平和を訴えていることに感動しました。

(友人から誘われた50代の男性 つくばみらい市)

◇ とても感動しました。やばい、涙がとまらない…… の場面がいくつあったか……

◇ 歴史は繰り返されるというけれど、繰り返しているのは「人」なんです。人は忘れてしまう、知った振りをしてしまう。戦争も知った振りをしているんです。(賛同人で19歳、大学生の女性 つくば市)

「つどい」の運営と「憲法9条の会つくば」への提言

◇ オープニングの和太鼓演奏もとても良かったです。開場がとても盛り上がりました。

異端かも知れませんが、私は自衛隊が日本国専守防衛軍として憲法に明記し、ソマリア沖海自派遣の様な警察的国際貢献ができる様にするべきだと考えます。軍備は保険の様なもので、魅力的な国「日本」を守るために不可欠です。集団的自衛権は否定したいですが。(賛同人でない男性 つくば市)

◇ 視覚に訴えるものがないのはもったいない。言葉だけでは抽象的すぎて実感がわかない。このようなイベントはオープンな場に、参加型にしていく。(友人から誘われた賛同人でない20代の男性 土浦市)

◇ 小森さんのお話にあった「中東で日本の9条が大変尊敬されている」、「東アジア(日、韓、朝)の非核化と、(中、米、露)核削減・廃止が世界の流れ」を今年のメッセージとして広めましょう。

(賛同人で40代の女性 つくば市)

◇ 「憲法9条」と、若い人たちの間に、どう理解され、広めるかが今後の運動を進める“カギ”のひとつ。

小森さん、おもしろく聞けました。しかし現在の活動の到達点など、全国的な活動の話なども聞きたかった。

(賛同人で80代の男性 つくば市)

◇ これからは守りの9条だけではいけない。拡げて行く9条なんですよ。

(賛同人で19歳、大学生の女性 つくば市)

◇ 小森さんの話のような、過去のできごとが現在にどのように繋がっているかを理解するための学習会が年に2度ぐらいあるといいのではないと思った。(賛同人で40代の男性 牛久市)

小森さんの記念講演を聴いて

小森陽一さんは講演で、いろいろな歴史をたどるときに「その過去・現在・未来を正しくとらえる」ことの大切さを指摘された。その夜から3夜連続のNHKスペシャル「永田町・権力の興亡」を観て、そのことを思い浮かべながら、この講座の中心の一つである戦後55年体制以後の各政党の離合集散の歴史の本当のところを、改めて興味深く映像を通して確認することができた。

今回の政権交代劇が何か本当に国民のための政治が甦るかのような錯覚に陥りがちだった私ですが、この政権与党(特に民主党)の憲法改正の方向性、政治とカネ、沖縄の米軍基地問題、消費税問題、農業問題、比例区定員の削減問題そして後期高齢者医療制度などに関する最近の言動には憂慮せざるを得ません。今後とも、真の革新政党の躍進が期待されます。(70代 大塚)

「はだしのゲン 原爆投下のその日まで」を聞いて

◇ 神田さんの講談を聞いて、昭和20年の当時、広島に何がおきたのか恐ろしい程に疑似体験したように思います。

言論の自由が奪われ、死を潔しとする教えがあったこと、そんな中でも、家族というものの温かさを感じていたところに、何もかもを消し去ってしまう原爆が落とされた事、戦時中の異常な日常と、原爆の被害のあまりの恐ろしさに、身震いがしました。もう二度とあんな悲惨なことを起してはならない、その事を胸に刻むことができました。

講談のすばらしさもそうですが、あの日とあの頃を二度とくり返すことのないよう、この講談が語り継がれ多くの人々に聞いてもらい、私と同じ思いを胸に刻んでほしいと思いました。

(30代 保育士)

◇ 講談は、今回初めて聞きました。はだしのゲンの話は少し知っていたけれど、本で読むよりもとても迫力があり、戦争の怖さをとても感じました。また戦争の話聞く、とても貴重な体験で、改めて、戦争は二度と起したくないし、9条の大切さも思わされるのでした。(20代 保育士)

「設立4周年記念のつどい」 (資料)

「つどい」にご参加いただいた賛同人の皆様には繰り返しのようになりますが、当日、報告提案された「活動報告とこれからの基本方針」を掲載します。

活動報告と今後の目標 2009. 11. 1

8月の総選挙で自民・公明党政権が歴史的に大敗し、民主党中心の政権が誕生しました。新しい政権には、自公政治によって破壊された国民のいのちとくらしを守る政治の実現が期待されています。同時に、これまで秘密にされてきた「核持ち込み」や日米軍事関係などを明らかにすることが求められています。しかし「憲法9条」をめぐる動きは油断ができません。

多くの国民は憲法9条を変えることに反対しています(憲法記念日の各種世論調査)。しかしながら、国連への軍事的貢献や北朝鮮へのミサイル防衛などを理由に、憲法9条を変えたいと考える人達がいることも事実です。来年は国民投票法が施行される年、再び戦争する道を選ぶことがないよう、憲法9条を守り生かす世論を大きく広げるときです。

世界的にも、オバマ米大統領が「核兵器を使用した唯一の国としての道義的責任」として「核兵器のない世界」を表明し、「核兵器をめぐる問題」での国連安全保障理事会首脳会合でも「核兵器のない世界」を目指す決議を採択するなど、「核のない、戦争のない平和な世界」が大きな流れとなっています。鳩山首相も安保理で、「唯一の被爆国としての道義的責任」として「核廃絶に向けて先頭に立つ」と表明しました。

私たちの「9条運動」への確信が、いっそう深まっています。

I. 活動報告

1) 賛同呼びかけ

賛同人の方それぞれが、地域・職場・分野などで賛同を拡げています。また、さまざまな機会に広く賛同を呼びかけました。10月25日現在の賛同人総数は722名、内つくば市在住の方は546名です。「4周年記念のつどい」までに、つくば市で600名以上の賛同人をと目標に掲げて行動をしましたが、残念ながら目標に届きませんでした。

2) 署名行動

つくば市有権者15万人の過半数獲得を目標に「憲法9条を変えさせない」署名を、個別に地域・職場などで、

また会として月1回定期的に、アルス前およびクレオ前や地域で呼びかけました。2月に全賛同人に「お1人が1月に1筆を！」と個人署名行動を提起し、36人の方々から400筆を超える署名が寄せられました。6月には署名3827筆を国会に提出しました。これで国会提出行動は3回目となり、総数7061筆を提出したことになります。

署名行動は、数にこだわることなく「憲法9条を変えさせない」世論の国民有権者の過半数の形成をめざしてとりにくんでいます。10月25日現在の署名総数は7585筆となりました。署名行動を通して対話活動が活発に行われ、成果を上げています。

3) 地域および地域ごとの活動

・「月1回の定例行動のうち何度かは地域へ」として、春日地域で1回(08.12)と並木地域で2回(09.6, 10)、署名行動と各戸チラシ配布に取り組み、成果をあげています。地域に入ることで、憲法が身近な話題になることを期待しています。

・「梅園・東・稲荷前9条の会」は、「戦争を語り継ぐ会」を開催し、賛同を拡げています。

・「筑波地域憲法9条の会」は、地域署名行動に取り組み、対話を通して賛同を拡げています。

・他地域でも、チラシの配布や個別署名などで賛同を拡げ、住民の1割以上が賛同人という地域もできています。草の根的に地域に根を下ろした「9条運動」の取り組みへ向けて前進がみられました。

4) 学習、企画、催し物など

・「3周年記念のつどい」(08.10.4)は松本侑子さんの記念講演と庄野真代さんの歌で迎え、約400名の方が参加しました。講演で「憲法9条を守る意義」を確信し、庄野真代さんの歌声に勇気づけられました。

・学習会「田母神論文と日本のゆくえ」(1月)を、緒方章宏さんを講師に開催しました。

・勉強会を定例会後半で開催しました。「茨城空港は必要かについて」(3月)、「医療・福祉予算の削減と消費税引き上げの問題」(5月)、「自衛隊の現状について」(7月)。

・「戦争体験を語り継ぐ会」(09.8)を、「梅園・東・

稲荷前9条の会」と共催しました。参加した若者から「二度と戦争を起こさないために、語り継がれた記憶をまた次代へと伝えることを考えていかかなければならない」と感想が寄せられました。

- ・ 他団体との共同行動として、「ガザ講演会」、「5.1 メーデー」、「5.3 憲法フェスタ」、「つくば市母親大会」、「10.21 国際反戦デー集会」などに参加しました。
- ・ 「九条の会全国交流集会」(08.11)などへ参加者を派遣しました。

5) 広報活動

- ・ コミュニティー紙「結」を隔月発行し、その時々憲法をめぐる動きや会の活動をお知らせしました。また賛同人の積極的な参加を求め、賛同人の交流の場となるよう紙面の改善に取り組みました。
- ・ 毎月の定例署名行動時には、オリジナル「9条チラシ」とその裏面にその時々憲法をめぐる動きを書き、「憲法9条を守ろう」と訴えました。なお「9条チラシ」を更新し、この1年で約3500枚配布しました。
- ・ 「成人式」や「09.9.9.9 全国一斉行動」などで、独自に作成したチラシを配布しました。

6) 「平和の鐘 一振り運動」

「広島・長崎の原爆の日」に「ばってんネットワーク」の提案で、市内の寺や教会などへ「平和の鐘一振り運動」を呼びかけました。寺や介護施設では参加者に鐘を衝かせていただき、いくつかの寺や教会などでは鐘を鳴らしていただきました。「平和の鐘の音」に原爆犠牲者の冥福を祈るとともに、二度と戦争を繰り返させないと強く決意しました。

7) 活動体制

5名の代表と複数の事務局会メンバーを中心に、毎月、事務局会と定例会を交互に開催し、会の活動を支えてきました。他にも状況にあわせて会合をもち、催しによっては実行委員会をつくり、活動への参加を広く呼びかけてきました。

2009年4月より、事務局7名、世話人25名で構成しています。



II. 今後の活動の目標

「憲法9条の会つくば」は、つくば市民に広く知られる存在になりつつあります。市民の過半数が「憲法9条を守る勢力」になっていただくためにも、地域ごとの活動を基本に、職場・分野・サークルなど草の根的に賛同を拡げる活動や広報活動を続けていきましょう。

今こそ、「憲法9条を守ろう！ 憲法をくらしに生かそう！ 戦争のない平和な世界を！」と、私たちの運動を大きく拡げていきましょう。

「5周年記念のつどい」までに、次の目標を提案します。

- ・ 賛同人を、つくば市で700名以上にしましょう。
- ・ 「憲法9条を変えさせない」署名を、1万筆以上集めましょう。
- ・ 若い世代に対して、運動を担っていただけるよう積極的に働きかけましょう。
- ・ 地域への広報活動を進めましょう。
- ・ 小学校単位の地域や分野・職場などに、たくさんの「9条の会」を作りましょう。

「3周年記念のつどい」から「4周年記念のつどい」までの「会計報告」につきましては、次号（31号）の「結」にて報告させていただきます。

文芸9条 ほっとタイム

◇ 「憲法九条は命そのもの」 沖縄の基地の撤去に人は闘ふ

◇ 未代まで後始末もできざる災害の戦争を防ぐが憲法九条ぞ

◇ この世界に初めて持ち得し第九条 軍備持たざる平和憲法

政権交代。支え批判し、応分の責任の分担を。

それが民主主義。(大塚敬三)



地域広報活動を上げたい！



会の活動から

昨年から今年にかけて、春日・並木地域への署名や署名用紙付チラシ配布を行い、地域への働きかけを探索してきました。地域署名行動は1回あたりの対象世帯150軒ほどが限界で、対話のメリットはありますが、苦勞の割には署名協力者の割合は余り期待できませんでした。「憲法9条を守り生かす世論」を加速するために、広範な世帯に「憲法9条の会つくば」の活動を知っていただくことがまずは大切と、10月に行った並木地域でのチラシ配布では、皆様が快く受け取ってくださる雰囲気があり、後日には3世帯の方から6筆の署名を届けていただきました。これは正直望外のことで、大いに元気をいただきました。

地域へのチラシ配布を今後も定期的におこないたい、また同時に、賛同人の皆様のご近所に署名付チラシを5枚でも10枚でも配布することに協力をいただけないかと考えています。

この例として、ある賛同人がお住まいの地域の賛同人と協力して、区会全世帯(120)へ「つどい」のお誘いと共に署名用紙をつけた「署名協力をお願い」チラシを配布したところ、12軒36筆の署名が届けられたという報告も届いています。このような行動を、つくば市全域に広げていけたらなと思っています。皆様のご協力をお願いします。(地域担当)

- ◆ 賛同人 11月10日現在
総数726名 (市内548名)
- ◆ 9条署名 11月9日現在
累計：7674筆
10月地域協力署名：6筆
11月定例街頭署名：59筆
個人署名：協力延べ36人、
2月からの累計：421筆

「澤地久枝 講演会」を聴いて

(10月3日 石岡地域憲法9条の会)

今でも父との会話を思い出す。「なぜ、あんな戦争をしたの?」・・・「教え子を戦争に送ってしまった」とひとこと。そして父自らも満州に渡っていた。50数年前、私はラジオの「たずね人」の放送を聞いた時に、私もそういう目にあっていたかもしれないと想像しておびえていた。

澤地先生はいつかテレビで拝見した時のように着物姿で、元気いっぱい、力に満ちたお声で憲法9条や平和のありようについて語られた。その一言ひとことが、私の胸に響いてくるのは何故だろう。60代なかばを過ぎてしまった私の限られた時間がそう感じさせるのであろうか。そしてそれらの言葉に共感している自分に安心している。

彼女の多くのご本が、実際の資料に残された手紙や手記などに裏付けられている。「戦争は絶対にしてはいけない。反対!」と心に思っている、実際には現実の暮らしに精いっぱい自分であるが、その著書に触れて書き続けられた軌跡をなぞり、より深く知っていきたいと思っている。(H. Y)

第3回北関東フォーク・ジャンボリー

・・・賛同と署名の出店・・・

「ゆかりの森」で開催された「北関東憲法フォークジャンボリー」(10/12)の会場で、「憲法9条署名」と賛同、「つどい」への参加を呼びかけました。1人での行動でしたが、多くの方に協力していただきました。署名は62筆で、2人が賛同して下さいました。カンパも1000円でした。とてもうれしかった!

秋晴れのもと、たくさんの方々で囲まれた野外ステージでは、各地のフォークグループが「平和への想い」を音楽で表現していました。「ゆいのかい・足利9条の会」のディエットの美しい歌声に魅せられ、東京の「クラブランナーズ」の筋ジストロフィーの男性の「戦争は人間を悪魔にする」「だから戦争は絶対してはならない」と音楽に乗せて、身体いっぱい使った表現に強く心が揺さぶられました。舞台からの熱い想いと舞台周りの和やかな雰囲気、私も心を新たにしました。

(伊藤)

インフォメーション

- ◇ 講演と対話のつどい 研究学園都市研究所・大学関係9条の会
講師:角谷信一さん(千葉県高等学校教職員組合副委員長)
演題:貧困と格差が教育を破壊 憲法を活かそう!
話題提供:岡野一男さん(茨城県高等学校教職員組合委員長)
日時:12月6日(日) 開会 午後1時30分
場所:大穂公民館 視聴覚室
- ◇ 不戦のつどい 12.8不戦のつどい実行委員会
講師:相原輝雄さん(元飛行予科訓練生・土浦航空隊勤務)
演題:私の予科練時代 日時:12月8日(金) 18時開場 すいとん
試食あり、18:50 開演、 場所:手代木公民館大会議室・調理室